

# セミナー企画書

---

山田真由子/山田真由子社会保険労務士事務所 代表

(電話) 090-8446-5514

(メール)officeyamada@nifty.com

---

## 【タイトル】

“年収の壁”で人手不足にしない働き方と制度づくり

～従業員が安心して働ける職場と、人材確保を両立する～

## 【参加者対象】

- 経営者・管理職
- 人事・総務担当者
- パート・アルバイトの就業調整に課題がある組織
- 人手不足やシフト不安定が続く部署

## 【参加者が得られるメリット】

- ▶ 年収壁の影響を「本人・配偶者・扶養家族・学生」の4視点で整理できます。
- ▶ 106万・130万を中心に、手取りへ最も影響する点を判断できるようになります。
- ▶ 働き損を生まない給与設計や勤務調整を、自社の仕組みに合わせて検討できます。
- ▶ 助成金を活用し、制度改善と人材確保の両立ポイントが理解できます。
- ▶ 従業員への説明ステップが整理され、不安や誤解を減らせます。
- ▶ 扶養内人材の戦力化と、シフト運用の安定化につながります。

## 【コンセプト・概要】

年収の壁による就業調整が広がり、企業では「働きたいのに働けない」「シフトが安定しない」といった問題が増えています。本セミナーでは、年収壁の構造、手取りへの影響、働き損を防ぐ働き方、制度整備、助成金活用までを整理し、実務に落とし込める形で解説します。

目的は、従業員の不安を軽減し、人材活用を安定させる“持続可能な働き方と制度”を整えることです。

## 【内容】

### （１）年収の壁の正しい理解

- ▶ 年収 103 万・106 万・130 万・150 万の違い
- ▶ 「手取りが減るポイント」と“本当に影響が大きい壁”の整理
- ▶ 社会保険加入の基準と誤解しやすい点

### （２）手取りを減らさない働き方と制度設計

- ▶ 働き損が起きる理由
- ▶ 時給・勤務時間・手当の組合せで改善できる例
- ▶ 扶養内・扶養外の判断基準
- ▶ 自社制度に合わせて見直すポイント

### （３）企業が使える公的支援（助成金）

- ▶ 社会保険適用拡大支援
- ▶ 人材確保等支援
- ▶ 制度整備と助成金活用の流れ

### （４）働き損を防ぐための実務対応

- ▶ 従業員への説明で押さえるべき流れ
- ▶ 就業調整への不安を軽減するコミュニケーションの工夫

### （５）将来を見据えた人材活用

- ▶ 人手不足時代の組織づくりのポイント
- ▶ 【演習】3 年後の組織図作成
- ▶ 中小企業が取り組みやすい人材活用ステップ

### （６）まとめとアクションプラン

- ▶ 今日からできる取り組み
- ▶ 自社で見直すべき制度と運用ポイントの整理

所要時間：90 分～120 分程度（ご要望時間にあわせカスタマイズ可能）

参加特典：当日のセミナー資料（PDF 版）を希望者に進呈